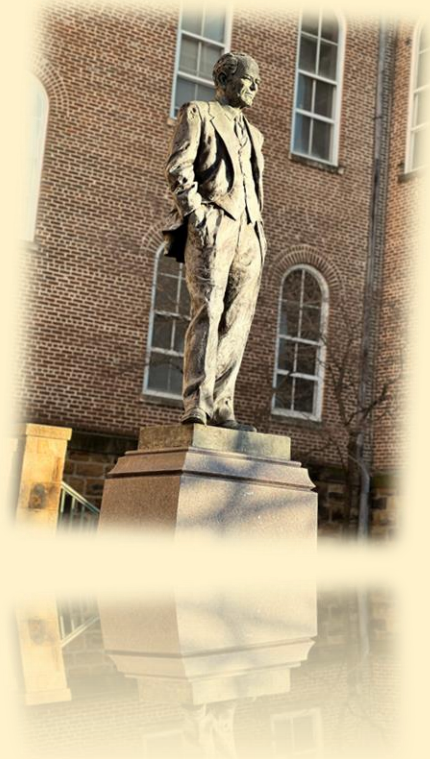


## アーカンソー大学 交換留学体験記 12月

### < Contents >

- ❑ [授業](#)
- ❑ [Thanksgiving](#)
- ❑ [Christmas](#)
- ❑ [寮の気になるところ](#)
- ❑ [冬休み](#)
- ❑ [Fall Semester を振り返って](#)



### ～ 授業 ～

#### Academic Writing (ELAC1023)

APA 形式について学んだ後、練習として、James William Fulbright について調べ、レポートを作成しました。

Fulbright は Fulbright Program (フルブライト奨学金) でよく知られている方です。アーカンソー大学の学長を務めたこともあり、Old Main のすぐそばに像が立っています (右上の写真)。レポート課題では、一度提出した後に、教授が良かった点と改善点を示して、もう一度提出する機会をくださるのでありがたいです。

レポートの添削をお願いしたい場合は、CORD (Cordia Harrington Center for Excellence) の Writing Studio がおすすめです (生徒は無料!)。ここでは、自分のレポートが形式 (APA, MLA, Chicago など) に沿っているか、どうしたら論理的で読みやすくなるかなどをアドバイスしてもらえます。文法的にはあっているけど、なにかおかしい、というようなネイティブだからこそ気づける点もあるので大変助かります。また、トピックについて調べてはみたけど何を書けばいいのかかわからないときには、頭の中にある情報をアドバイザーと一緒に整理してくれます。CORD には他にも、Career Studio (キャリア相談、レジュメ添削など) や、Peer Academic Coaching (効率の良い勉強の仕方を教えてくれます) などの施設があり、生徒を全力でサポートしてくれます。

教授はとてもエネルギッシュでユーモアのある方です。授業は、ただ講義をするだけでなく、ペアで話し合う時間を設けたり、生徒に質問をして、理解しているかどうか確認したりしながら授業を進めていきます。APA 形式に関するクイズ大会もありました！ イベント情報や近くのおすすめの場所の紹介が毎授業あり、短い期間だからこそ、たくさんのことを経験してほしいという願いがよく伝わってきます。また、成績や生活についての簡単な個人面談もあって、教授の用意してくださった peanut butter & jelly sandwich を食べながら、会話を楽しみました。

(参考)

James William Fulbright

[J. William Fulbright | University of Arkansas \(uark.edu\)](#)

The CORD

[Home | Student Success | University of Arkansas \(uark.edu\)](#)

Writing Studio

[Writing Studio | Student Success | University of Arkansas \(uark.edu\)](#)



#### Programming Languages for Data Science (DASC1104)

前半と後半で2人の教授が担当しています。R と Python の基礎を学びました。この授業で習ったことを使って、Introduction to Data Science (DASC1003) では、実際にチームで仮説を立て、データを探し、処理・分析をして、最終的にはプレゼンを行いました。DASC1104 の最後の授業は、まとめとして、2人の教授に研究やデータサイエンスについて質問をするスタイルでした。手始めに教授が、「この授業で学んだこと、この授業の良かったところを自由に発言してくれ」というと、順番に生徒が話し始めます。ひとり通りみんなが言い終わったところで、ある生徒が手を挙げて、“I really enjoyed this class, but there’s one thing I would change...” と改善点を話し出そうとすると、教授が “But I didn’t ask that” と笑いを誘っていました。



～ Coffee Break (1) ～



みんなディスカッションに慣れているので、展開がものすごく早いです！

ついていけるので精一杯だったり、言おうとしたことを先に言われてしまったり・・・

思うように発言できなかったときには、寒い中懸命に生きるリスたちをなんとも言えない表情で眺めてしまいます(笑)



@ Devil's Den



～ **Thanksgiving** ～

島大にいる先生の友人の友達とご縁があり、そのご家族が誘っていただきました！

Thanksgiving は、イギリスからアメリカに移住した巡礼者たちの最初の収穫を記念する行事です。到着した年の冬は厳しく、大勢の死者が出ましたが、翌年、先住民であるインディアンから栽培方法を教えてもらったおかげで巡礼者たちは生き延びられたとされています。



Turkey!

左から Corn Casserole, Potato Casserole, Dressing!!!



「Turkey には眠くなる成分が含まれてるってほんと？」と友だちが聞くと、「たくさん食べるからどっちにしろ眠くなるよ」って返されてました(笑)

ISS (International Student and Scholar) が企画する Thanksgiving Dinner もあって、留学生と地域の家族をつなげてくれます！





～ Coffee Break (2) ～



天気の良い日は、外で勉強したくなりますね！



～ Christmas ～

クリスマスシーズンにはいろんなイベントが開催されます！



Fellowship International Gatherings が開催するイベントでは、White Elephant というゲームを行いました (プレゼント交換ゲーム)！

まず始めに、みんなで大きな円をつくり、それぞれが持ち寄ったプレゼントを真ん中に置きます。それから、ひとりひとり順番にプレゼントを取りに行くのですが、おもしろいルールがあって、最初の人以外は、真ん中にあるプレゼントを開けるか、自分より順番が前の人が開けたプレゼントを盗むか選べるんです！自分の順番が後半だと、盗むプレゼントの選択肢が増えるのでより楽しいです。ただし、プレゼントは2回盗まれたらロックされて、もう盗めなくなるので要注意！プレゼントを盗まれた人は、もう一度真ん中にあるプレゼントを開けます。



ゲームは大変盛り上がりました！  
もらえたらすごく嬉しいプレゼントから、もはや笑うしかないプレゼントまでいろいろな種類のプレゼントがありました。

ブタの貯金箱  
いつ使えばいいんだ。。。

一番人気は、なんとこの人形 boba Fett bobble head!!!



みんなが STAR WARS ファンじゃないのにどうして? と思ったかもしれません。

この人形は、メンバーのひとりが5, 6年前インターンシップに参加したときに、隣の人の机から盗んだものです(すぐ見つかったそうですが!)  
それから、White Elephant に出品されて、色々な人の手に渡り、なんと、イギリス、フランス、イタリア、日本など世界を歩き回っている強者です!  
人気の理由が分かってきましたね。

毎年クリスマスシーズンになると、White Elephant のために帰ってくるみたいです!



一緒に飛行機で  
移動中!



スティール  
成功!





クリスマスイブには、教会の Candlelight Service に参加しました。



Thanksgiving に呼んでくれたご家族がクリスマスランチに招待してくれました。





クリスマスパーティー！！！！



キッチンミトンをはめて  
プレゼントを開けるゲームです！  
次の順番の人は2つの  
サイコロを振って、  
ゾロ目が出たら  
プレゼントを開ける番に  
なれます！

～ Coffee Break (3) ～



万引き防止!!!





## ～ 寮の気になるところ ～

仲良くなった友だちに寮を案内してみました！  
アーカンソー大学では、基本的に1年生は寮生活です。  
だけど、この友だちは別の大学から転入していて、  
前は家から通っていたので、寮に住んだ経験がないと言っていました。  
日本語を勉強中です！

部屋に案内して、ひと通り説明した後に、  
友だちが「いつもこんなにうるさいの？」と聞くので、  
「そういえば、そうだね～」と  
言われて初めて気づいたかのような返答をしてしまいました。  
たしかにうるさいんです。

人の話す声や音楽がよく聞こえてきて、  
8月に寮に入ったときには、  
これからどうしようか…と思っていたんですが、  
もう特別イライラすることもなくなりました。  
日常茶飯事なので(笑)

思い返せば、初めは驚いたことが何個かあって…  
一番ショックだったのはトイレです(圧倒的第一位！)

日本では、公衆トイレでもひとつひとつが個室になっていて、  
しっかりプライベート空間がつくられていますよね。  
でも、アメリカでは、扉の上と下の部分が短くて、  
外から足が見えますし、  
背の高い人であれば頭が突き出ています！

さらにさらに、扉を閉めても微妙な隙間があるんです！  
(だいたい9mmくらいのイメージです)

全然落ち着けない！

アメリカでは、温泉で裸になるのが恥ずかしいというのをよく聞くけど、  
このトイレは恥ずかしくないのかな。。。

あと、ちゃんとトイレ流してください！(笑)



～ Coffee Break (4) ～



友だちの車より



雨のち晴れ



## ～ 冬休み ～

一週間ほど Dallas にある友だちの家に泊めてもらいました！“Make yourself at home!” スタイルで、アメリカ流のおもてなしを実際に体験できました。ご家族はとてもフレンドリーに接してくれて、これは英語で〇〇っていうんだよ、と教えてくれたり、〇〇したことある？とたくさん質問したりしてくれました。

毎日、どこかに出かけたり、友達の友達たちに会ったり、ご家族と一緒に夜ご飯を楽しんだりともものすごく目まぐるしくて充実した一週間でした。







寮に着くと、4ヶ月しかここに住んでないのに、自分の家に帰ってきたような安心感がありました。それとともに、旅が終わったことの寂しさがこみ上げてきます。一週間であれほどたくさんのかたのことを体験できたことが信じられなくて、幸せな夢をみていたのかもしれないと思ったくらいです。(そんな想像力ないんですけどね！笑)  
友だち一家には本当にお世話になって、感謝の気持ちでいっぱいです。



## ～ Fall Semester を振り返って ～

一瞬だったなと思いつつも、色々な思い出が詰まっていることにほっとする自分がいます。

今のところ、一番大変だったのは留学準備です。何から始めればいいのか分からないという状態だったので調べるのにかなりの時間を費やしました。調べた後は、何をいつまでにしなければいけないのか計画を立て、一つ一つ迅速にかつ確実に進めていく必要があります。留学と聞くと、現地に着いてからの生活が一番に思い浮かびますが、そこにたどり着くまでの道のりは決して甘くないと気づかされました。もちろんその分、成長も期待できます！

こちらに到着後、特別大変なことはありません。むしろ、平穩に時間が過ぎていくことに驚いているくらいです。日本にいてもアメリカにいても、トラブルは起きますし、乗り越えるべき課題は存在します。ですので、そこまで恐れる必要はないと感じています。最近、他大学の留学体験記を調べたときに「海外でもやっていけるという謎の自信がついた」というコメントを見つけて、妙に共感してしまいました(笑) (治安のいい場所限定ですけどね)

さてさて、留学をしたからといって、雲の上の人になるわけではありません。留学したんだからなんか成長して帰ってくるんでしょ？ という周りの視線はやっぱり怖いですよ～。ただ、留学の醍醐味は、何かしなきゃって思わせてくれるところだと私は感じています。

私の場合、特に最初のころは、毎週のようにイベントに参加して、だれかれかまわず話しかけるといふ奮闘ぶりを見せていました。ICT (International Culture Team: 世界各国から集まった留学生たちが自分の国について紹介します) のメンバーになって、日本文化の紹介もしています。

昔の自分を知っている人からしたら考えられないかもしれません。私は社交的とは程遠い人で、自分から話しかけることは滅多にありませんでしたから。

こちらでは、“push yourself out of your comfort zone” (自分にとって心地よい環境から飛び出してみる) という表現がよく使われます。文字通り、自分の殻を破ろうと必死で、人生で一番フレンドリーになっています。おかげで、たくさんの人と時間を共有することができ、人に話しかけるときのや人前に立ったときの緊張を怖がるものが少なくなりました。

留学中、色々なことに挑戦しなきゃって思うのと同じくらいに、  
自分の立てた目標を意識しておくのも大切ですね。

ところでみなさん、今年の抱負覚えていますか???

個人的な成長。一番は、時間を上手に使えるようになったこと。日本にいたときは、とにかく勉強優先で、休日ですえ課題をやって一日が終わるといことも珍しくありませんでした。転学部をした後、遅れを挽回するためにたくさん授業を取ったことや、追加で履修している英語の授業の課題、ゼミの課題…など要因はたくさん思いつきます。しかし、一番の問題は自分自身でした。

私は、課題はさっさと終わらせてしまいたい派で（締め切りはいちいち見ません）、休憩もあまりとらずにどんどん課題を進めていきます。今日やらなくてもいい課題にまで手を出すことも多々ありました。時には、「この前おっしゃっていた課題はいつごろ掲示予定でしょうか」と教授を急かすことも(笑) 申し訳ないです。。。

そうでありながら、“手を抜いたら後で絶対に後悔する”とささやく自分があるので、無駄に几帳面になってしまいます。

この性格のせいで、毎日疲れ果てていました。このままでは将来ストレスまみれになる…と思いながらも、変わらないままズルズルと来てしまい、そんなときに、交換留学の選考に受かったんです。

そこで、この転換期を利用しない手はないと思い、留学中は勉強と余暇のバランスを大切にするという目標を立てました。勉強の大変なアメリカだからこそ有意義なものになると信じて。

授業が始まってからは、締め切り期日をしっかり確認して、「この課題は本当に今日やらなければいけないのか」と自分に問いかけました。今日やることを決めるというよりは、今日やらないことを決めるという感覚に近いですね。その過程の中で、今日やるべき緊急度の高いものが自然と浮かんでくるイメージです。

余暇時間は、イベントに参加したり、友だちと出かけたりして、リフレッシュに努めました。アウトドアアクティビティにも挑戦しています。

そのおかげで、主観的なストレスはだいぶ減って、勉強もフリータイムも両方楽しみながら Fall Semester を過ごすことができました。成績もよかったので文句なしです (GPA 4.0!!!)

調子に乗って、  
ほぼ毎日のように夕方や夜の集まりに参加した結果、  
体調を崩して2日間寝込みました(笑)



～ おまけ ～



**Fajitas**



メキシコ料理店で、店員さんに  
写真をお願いしたら、こうなりました  
(編集なしです)